



ホンダフル
本derful!
～ 自分を 世界を 未来を 拓く ～

<アクティブハイスクール事業は終了しましたが本校の特色として実施しています>

令和元年度(2019年度) 本derful!講演会

『昔ばなしが発するメッセージ』

*2019年12月6日(金)

講師：小澤昔ばなし研究所
所長 小澤 俊夫 氏

対象：第1・2学年

担当：第2学年 本ダフル委員会

著書『こんにちは、昔話です』
を読み、講演していただきました



生徒の感想より

- 普段忙しくて堅苦しいことが多い毎日の中で、小澤先生の話は心あたたまる話ばかりで久しぶりに落ち着くことができました。特にモミの木が意志をもって元に戻るように、みんなも元に戻ろうとするという話や、三年寝太郎の今は眠たい時でもいつか起きるという話を聞いて、私も強く生きようと思いました。
- 小澤先生が言っておられた「戦争は人を狂気にする」と言う言葉は絶対に忘れてはいけない事だと思ったし、僕たちの世代は戦争を体験していないので、この言葉は受け継いでいくべきだと思いました。
- 先生がとても楽しそうに話をしてくださったので、こっちまで楽しい気持ちになれたし、興味がもてました。
- 昔ばなしが私たちに伝えてくれているメッセージはとてもすばらしく、私たちが生きていく中で必要なものだと思います。戦争の話も聞けるためになりました。戦争は絶対にしてはいけないと強く思いました。今日の話からこの生活に生かしていきたいです。
- 話し方がとても悠長で、聞いていてとても安心するような気持ちになって無意識に聞き入ってしまいました。やまんばの昔話も、頭の中で想像しながら聞いていて単純におもしろかったです。
- 人生は怖がることを探しているというのが印象に残りました。勉強や部活で不安なことがたくさんありますが、一つひとつ乗り越えていきたいなと思います。
- 本当に心にくる話だった。特に若者のことをよく考えてくださっているということが分かった。若者はなろうとしている形があるという言葉に心を動かされて、こんな自分だけど、ちゃんと「芯」があるのかなと思え、少し自信ができました。また、戦争の話も印象的で、「戦争は人を狂気にする」ということや、実話も聞いて本当に戦争はしてはいけないと思いました。今も、世界のどこかで戦争はされているという事実悲しく思っていると同時に、無くなって欲しいと強く願っています。
- 実際に昔話を耳で聴くことで、昔話にあるリズムがよく分かりました。将来、子どもに昔話を聴かせる時は、本当の昔話を本当のリズムで読んであげたいと思います。
- 昔話の読み方が、これから変わっていくと思います。子どもにいつか関わる時、小澤先生のお話を思い出したいと思います。
- 私の人生は、昔話の登場人物ほどは過酷ではないと思うけれど、昔ばなしが伝えるメッセージのように「強く生きる」ことを大切にしていきたいと思います。
- ”昔話は語られている時しか存在しない。”という言葉と”愛されていること、信頼されていること、価値を認めてくれることを求める”という言葉に感動しました。もっと昔話を読んでみようと思えました。
- 自分がこうありたいという姿はみんなにあるもので、大切にしていけるべきものだと思います。
- 子どもの頃は昔話を普通に読んでいたけれど、今読んだら昔話の伝える意味やメッセージが感じられるのかなと思いました。先生ご自身とも話せて本当に楽しかったです。
- 語りでの昔話を聞いて、状況や人物をイメージして聞くことのおもしろさを知ることができました。
- 昔話は自分の想像していたより、あまりにも壮大でこんなに色々な要素が含まれているものかと、もっと昔話を読みたくなりました。今使われている言葉の元となった話や人間達の自然との関わり方や進化、話のリズムがどの話にもあるという話を聞いて、昔の人がおもしろ半分ふと語っただけの話かも知れないのに、偶然であってもこんなにすごい事がおこり、今の私たちに話し語り継がれているのだから、私たちも形を変えずに次の世代に伝えていきたいと思いました。
- モミの木のお話がすごく心に残りました。私は私らしく生きていこうと思えました。今すぐは無理かもしれないけど、自分らしく、なりたい自分に向かって頑張って今日も生きていこうと思います。
- 昔話は日本の伝承していくべき文化だと思いました。私も大人になって子どもに昔話を話す時は、形を変えずに伝えていきたいです。
- 昔話は人の成長とつながっているし、子どもの時だけに読んだりするものではなく、大きくなってからもいろんな事を学べるんだと思った。
- なりたい自分を想像し『強い意志』をもつことが大切だと思った。